

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

35,857円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	14,930円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	8,263円
会場費	600円
通信費(携帯電話代)	12,064円
支出計 06/6/5~06/7/10	35,857円
寄付 Sさん、Fさん	6,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
06/7/10

第74号

11500部発行

だけまつ ただし

頒布責任者: 武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

(仮)城下町ホール基本設計提示!?

駐車場50台? 今後の財政負担は?

■基本設計まとまる

(仮称)城下町ホールの基本設計が、まとまり提示されました。

外観デザインやホールのレイアウトは、広報小田原7/1号を見て下さい。

■敷地

ホール棟の敷地は、元小田原警察署とめがね橋臨時駐車場で、その中央を突っ切っている市道2197を南側へずらシクランク状にしています。現在の消防中央分署の位置に駐車場棟が設置されます。

■施設概要

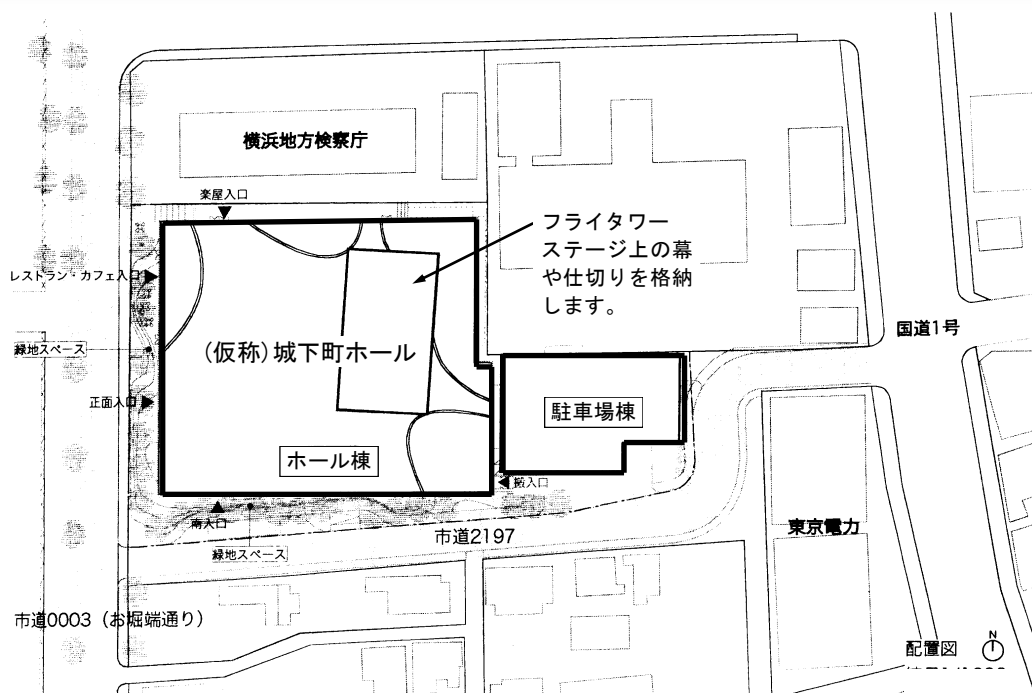
構造	鉄骨造	RC造
階数	地上4階	地下1階
高さ	約31m(フライタワー部分)	約20m(お堀端通り沿い)
敷地面積	約5900㎡	延床面積 約9000㎡
建築面積	約4000㎡	駐車台数 約50台

■今後の整備スケジュール

2006年度	実施設計 消防署中央分署及び本町交番解体 埋蔵文化財調査、市道2197付替工事
2007年度	着工
2009年度	竣工・開館

■駐車場・市民会館・財政負担は?

横浜地方裁判所小田原支部等の現地再建等により、用地取得が当初の半分程度になったことから、大ホール機能は(仮称)城下町ホールが担い、現市民会館



▲ 図1 (仮称)城下町ホール配置図

本館の小ホール、会議室等のコンベンション機能は、お城通り地区再開発事業が担うこととなりました。

今回の計画の最大の問題点は、駐車台数50台です。これでは少な過ぎます。竣工後直ちに、市民会館を取壊し、駐車場にする必要があります。

資金計画は、県企業庁からの借入れ(通常の1/2の金利で20年)ができる予定です。表1に想定される金利と年支払額を示します。金利が1%違えば総支払額で10億円もの差が出ます。金利上昇が懸念されますので時期を誤ることなく進めることが大切です。

※借入額や金利は、現況から仮に私が想定したものです。

表1 想定される金利と年支払額※

借入額	金利%	返済期間	総支払額	年支払額
50億円	1.0	20年	60億円	3億円
50億円	2.0	20年	70億円	3.5億円

後席もシートベルトを！

夏休みも間近ですが、最近、助手席の親や祖父母のひざの上に座る子供や、1BOX車の後席で子供が立っている姿を見かけるようになりました。

速度の怖さを物理的に解釈してみましょう。

時速40km＝6.3mから落ちた速度

これは、ほぼ2階の屋根から飛び降りた速度と同じです。

あなたは2階屋根から飛び降りて大丈夫ですか？

あなたは2階屋根から米袋10kgを持って飛び降りて持っていられますか？

日本車のエアバッグは、SRS式で、シートベルトの補助の役目をするものです。シートベルトに替わる機能を持ったエアバッグではありません。そのためシートベルトをしていないと頭をフロントガラスに突っ込んでしまいます。また後席の人も、前席を乗り越えガラスを突き破り屋外に放り出されます。

かわいい子にはベルトを締めよ！

表1 一般道におけるシートベルトの装着率と致死率

区分	ベルト装着率	致死率着用	致死率非着用	致死倍率
運転者	92.4%	0.18%	7.09%	39.3倍
助手席同乗者	80.3%	0.16%	1.76%	11.0倍
後部座席同乗者	8.1%	0.10%	0.36%	3.6倍

表2 高速道におけるシートベルトの装着率と致死率

区分	ベルト装着率	致死率着用	致死率非着用	致死倍率
運転者	97.7%	0.59%	14.8%	25.1倍
助手席同乗者	92.1%	0.32%	7.62%	23.8倍
後部座席同乗者	9.8%	0.26%	1.63%	6.3倍

致死率＝死者数÷死傷者数×100[%] 警視庁2005

致死倍率＝致死率非着用÷致死率着用

後部座席の致死倍率は、前席に比べ少ないものの、9割がベルト非着用のため、後席の死者が多い。

The Voice 今までに頂いたご意見から

それでもお城通り地区再開発事業に賛成ですか？ 男性

今回のお城通り再開発では、計画に納得がいかない地権者が3名組合より脱退し、そのビルが現在のまま残る、とポストिंगされたチラシに載っていました。もしこの話が本当で再開発が行われたとすると、とても醜い景観が駅前に出現しそうです。以前、武松議員はこの再開発に賛成ですと明言されていましたが、このような状態になっても賛成なのでしょうか？

お城通り地区再開発事業は、当初の127mの計画を見直し、31mに変更したことについては、私は今でも残念に思っています。準備組合の地権者脱退の件は、31mの基本設計見直し案が出された際に1名脱退したものの、計画の建物や進入路への影響が少なかったことから残りの準備組合員6名全員の賛成で、事業施工者の公募作業を進めることが承認され、公募に向け準備を行っている所です。

事業計画に参加されていない準備組合以外の建物に残り醜い駅前に出現することなのですが、醜いのは現状の建物であって再開発事業ではありません。こうした地権者が参加して頂くことが最も望ましいですが、ごね得のないようチェックして行く事が我々議員の仕事だと思います。(仮称)城下町ホールとの関連、市の支出や将来の負担を考慮しても現在の計画が最も熟度の高いものだと考えています。

武松政策研究会 お知らせ

7月の勉強会は

日 時：7/22(土) 18時～20時 場 所：市民学習フロア 学習室B

旧丸井4階 ドラックストア奥のエレベータで4階まで上がる。

テーマ：「**県の合併アンケート結果について**」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。

iモード用HPのQRコード →



8月の月刊武松配布と勉強会は都合により中止致します。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 ダイシティイースト出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**